

---

## 化学物質等安全データシート

---

## 1. 製品および会社情報

製品名	: アマダグリース EP. 0
推奨用途	: 主用途としてグリースなど
会社名	: 株式会社アマダ
住所	: 神奈川県伊勢原市石田200 TEL:0463-96-1111(代)
お問い合わせ先 および緊急連絡先	: オイルセンター 技術グループ TEL:048-710-4510 FAX:048-710-4517

---

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

: 分類できない

## 健康有害性

## 急性毒性(経口)

: 区分外

## 環境に関する有害性

## 水生環境有害性(急性)

: 区分3

## GHSラベル要素

## シンボル

: -

## 注意喚起語

: -

## 危険有害性情報

: 水性生物に有害

## 注意書き

〔予防策〕

: -

〔対応〕

: -

〔保管〕

: -

〔廃棄〕

: 内容物/容器は各種法規に従い適性に廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 工業用グリース
化学特性(化学式)	: 特定できない
成分および含有量	: 基油(精製鉱油) 85~95質量% 増ちょう剤(リチウム石けん) 10質量%以下 添加剤(極圧剤、防錆剤) 10質量%以下
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	: 企業秘密なので記載できない
CAS No.	: 企業秘密なので記載できない
危険有害成分	
化学物質管理促進法	: 対象物ではない
労働安全衛生法	: 第57条の2 通知対象物 政令番号 第168号 鉱油 85~95質量%
毒性劇物取締法	: 対象物ではない

---

## 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を速やかに洗浄すること。水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合

---

目に入った場合	: や気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けること。
予想される急性症状および遅発性症状	: 無理に吐かせずに、直ちに医師の手当て、診断を受けること。
応急処置をする者の保護	: 現在のところ有用な情報なし
医師に対する特別注意事項	: 現在のところ有用な情報なし
<hr/>	
5. 火災時の措置	
消火剤	: 粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
使ってはならない消火剤	: 棒状注水は火災を拡大し、危険な場合がある。
特有の危険有害性	: 現在のところ有用な情報なし
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断つ。周囲の設備等に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は風上から行き、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
<hr/>	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	: 作業の際には、必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 河川、下水道等に排出されないように注意する。
除去方法	: 漏出したものをかき集めて、密閉できる空容器に回収する。少量のものは灯油などの溶剤で拭き取る。
二次災害の防止策	1. 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。 2. 周辺の着火源を取り除く。
<hr/>	
7. 取り扱い及び保管上の注意	
取り扱い	
技術的対策	: 取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
注意事項	: 目に入ると炎症を起こすことがある。取扱う際は保護眼鏡を使用して目に入らないようにする。 皮膚に触れると炎症を起こすことがある。取扱う際は保護手袋を使用する等して皮膚に触れないようにする。 誤って飲み込むと下痢・嘔吐することがある。 取り扱いの都度、容器を密閉する。
安全取扱い注意事項	: 容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので保護手袋を着用する。
保管	
適切な保管条件	: ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて暗所に保管する。
安全な容器包装材料	: 空容器に圧力をかけない。 容器は溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。
<hr/>	
8. 暴露防止及び保護措置	
設備対策	: ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度	: 日本産業衛生学会(2004年度版): 3mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)

保護具	呼吸器用の保護具	: ACGIH(2004年度版):時間荷重平均(TWA)値: 5mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミストとして)
	手の保護具	: 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
	目の保護具	: 長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。
	皮膚及び身体の保護具	: 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
適切な衛生対策		: 長期間にわたり取り扱う場合又は濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。
		: 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

## 9.物理的及び化学的性質

## 物理的状态

物理的状态、形状、色など	茶褐色半固体
臭い	わずかな臭気
pH データなし	データなし
融点・凝固点 データなし	データなし
流動点	データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	データなし
引火点	205 (セタ)
爆発範囲	下限:1容量%(推定値) 上限:7容量%(推定値) (基油)
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	約0.91g/cm <sup>3</sup> (15 )
溶解度	水に不溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

## 10.安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける
危険有害な分解生成物	現在のところ有用な情報なし

## 11.有害性情報

急性毒性(経口)	各成分の急性毒性(経口)より、混合物は区分外と分類される。
その他	現在のところ有用な情報なし

## 12.環境影響情報

水生環境有害性(急性)	各成分の水生環境有害性(急性)より、混合物は区分3と分類される。
その他	現在のところ有用な情報なし

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</li> <li>2. 投棄禁止</li> <li>3. 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。</li> <li>4. 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。</li> </ol>
汚染容器・包装	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後処分する。</li> </ol>

## 14. 輸送上の注意

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
国内規制	
陸上	
消防法	: 危険物 非該当
海上	
船舶安全法	: 非危険物 個別運送及びばら積み運送において
航空	
航空法	: 非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件	

- ・ 可燃性の液体を使用しているので「火気注意」
- ・ 容器が破損しないように、ていねいに扱う。
- ・ 荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。

## 15. 適用法令

消防法	危険物 非該当
労働安全衛生法	通知対象物
海洋汚染防止法	油分排出規制(原則禁止)
化学物質管理促進法	該当しない
下水道法	鉱油類排出規制(5mg/L)
水質汚濁防止法	油分排出規制(5mg/L 許容濃度) ノルマルヘキサン抽出分として検出される
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則(拡散、流出の禁止)

## 16. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として  
 取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。